



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中之島三丁目共同開発IV期計画		
建設地	北区中之島3丁目		
建築用途	事務所		
建築主			
設計者			
敷地面積	21,089.32 m <sup>2</sup>		
建築面積	1,777.19 m <sup>2</sup>		
延床面積	10,737.78 m <sup>2</sup>		
構造/階数	S造 / 地上8階		
完了年(予定)	2028年10月		

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**S**  
BEE=3.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	57%
③上記+②以外の	57%
④上記+	57%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

音環境	3.2
温熱環境	3.6
光・視環境	3.9
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

機能性	3.4
耐用性・信頼性	3.6
対応性・更新性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.3

生物環境	5.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	4.0

**LR のスコア = 4.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.9

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	5.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.5
汚染物質回避	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

地球温暖化への配慮	4.7
地域環境への配慮	3.3
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b> WELLNESS、環境共生、多様性を基に自然を生かしたオフィス環境を整備した。 外構計画は四季の丘と緑の景観をつなぐランドスケープの整備を行い南北を結ぶデッキ空間を作る事で動線と緑の軸を形成した。</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> 木質アウトフレームダブルスキンによる省エネ効果により空調負荷の削減、地域冷暖房の利用、効率的な照明計画となるよう設計した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> CLT耐震壁とダブルスキンによる木のぬくもりを感じることができるオフィス空間を実現。CLT耐震壁、扁平柱、木質自動ブラインドの組み合わせにより、フレキシブルな視線制御をできる計画とした。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地の四周の環境と呼応する樹種を選定することで周辺のそれぞれの豊かな自然環境をつなぎ止め、生物環境を保全する植栽計画とした。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギー性の高い河川水を利用した高効率地域冷暖房の冷水、温水を利用した中央熱源方式とした。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 1・2Fエントランス・コリドー・基準階梁・基準階柱の仕上材には「SGEC認証」を取得した大阪府産材を採用、持続可能な森林から産出された木材を積極的に利用した。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼器具を設置しない事で屋外に対して大気汚染物質を発生させない計画とした。</p>

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.7
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	5.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
外皮性能	- (相当)	0.77	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ] 0.46	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ] 0.46